



## ヤマビルに気をつけよう

### ヤマビル

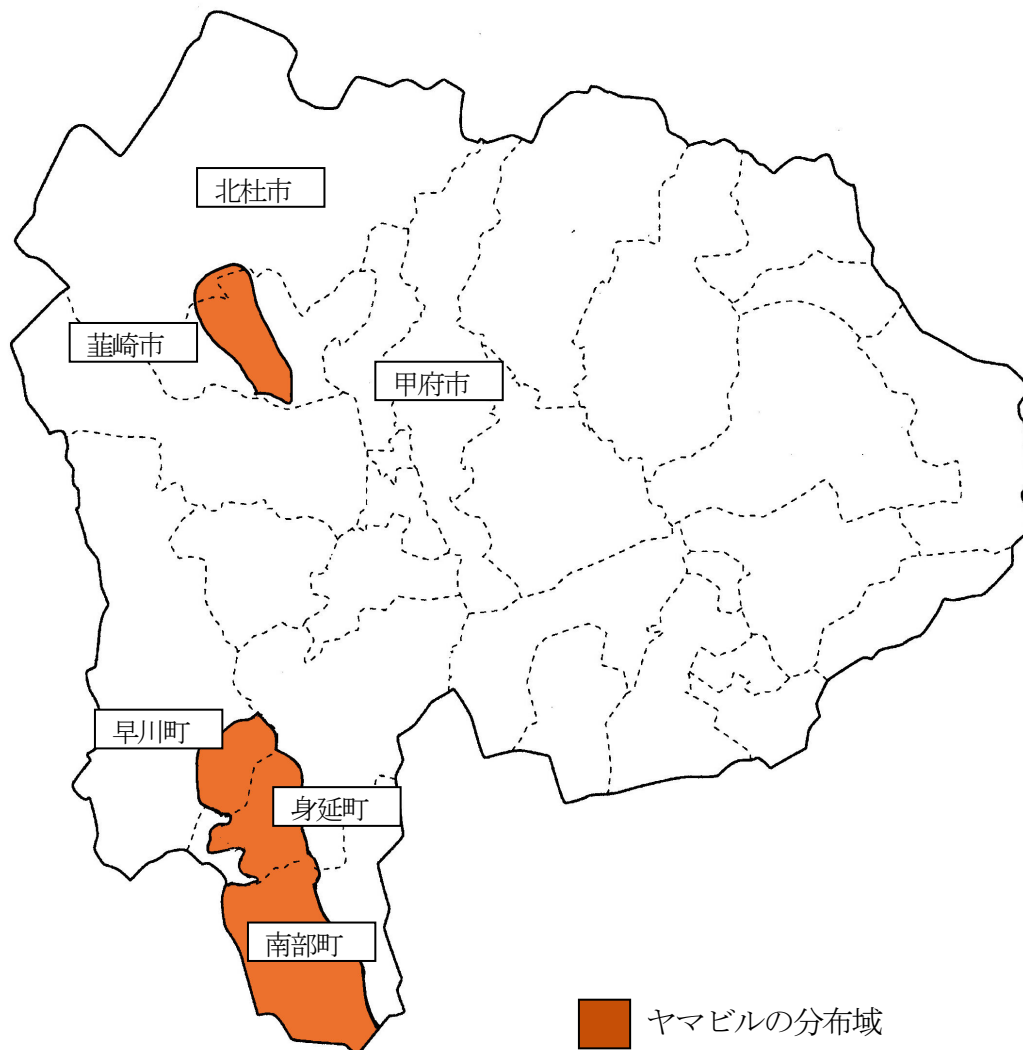
体長1. 5～8 cm 環形動物（ミミズ等の仲間）。写真の様に、3本の黒い縦筋があるのが特徴。シャクトリムシの様に歩き、意外に早く移動する。おしりと口の吸盤は強く、離れにくい。落ち葉の下などじめじめしたところに生息しており、5月～10月に活動し、冬季は越冬する。雌雄同体で、卵で増える。寿命は1～2年。天敵は見つかっていない。

### 被害

**吸血被害**で、一度に吸う血液量は多く、その後、血が止まりにくい。落ち葉の下等に潜んでいるヤマビルが人や動物を感知して出てくる。足から体を登ってゆくが、移動が早いので、首筋まで達することもあり、上から落下してきたと誤解される。服の隙間から入り込み、口の吸盤で張り付き、吸血する。人や動物の気配を感じると活発に活動し、下草等に登り、そこから人体へ乗り移ることもある。痛みをほとんど感じず、一時間にも渡り吸血する。吸血跡はしばらく痒みが出たり、腫れたりする。



## 山梨県におけるヤマビルの分布



山梨県でヤマビルは2カ所に分かれて分布している。

1箇所は県南部 富士川以西で、南部町、身延町、早川町にまたがって分布している。

もう1箇所は、県北西部で、富士川市、北杜市の一部に分布している。

近年、分布が拡大しつつあると言われており、この地域の山林に春から秋にかけて入る場合は、ヤマビル対策が必要である。

## ヤマビルへの対策

### 山での対策

広域に及ぶ山林での対策は難しく、即効性は低い。基本的には、ヤマビルの生息域へ入る人間がヒルの吸血を受けないよう注意することが重要である。

#### 1) ヤマビルの活動期に注意

ヤマビルが活動するのは、5月～10月

晴天日： 夕方～朝までに活動； 雨天、多湿日： 一日中活動

#### 2) 服装に注意

肌を露出しない。服内にヒルが潜り込みにくい服装が理想。靴と足の隙間をできるだけなくし、下記の忌避剤と組み合わせることが重要である。

#### 3) 忌避剤の使用

靴、靴下、手袋、長ズボンの裾、長袖の裾に忌避剤を付ける。

長靴等であれば、忌避剤を付けた布を巻くこともできる。地面へは忌避剤 100cc 当たり 1 m<sup>2</sup> を散布の目安にする。

自然物：塩 (20%)、アルコール (70%)、酢酸 (5%)、木酢液 (50%)

市販品：ヒルの忌避剤が市販されている。使用に当たっては注意書きに従う。

#### 4) 除草、落ち葉の除去

森林公園、キャンプ場、里山林の一部などエリアを限定すれば、除草や落ち葉を除去し、林内に太陽の光を入れて乾燥させ、隠れ家を無くすことで、ヒル個体数を減少できる。

#### 5) 動物の駆除

ヒルは吸血しないと産卵できないため、動物の個体数を減らし、吸血の機会を減少させる。また、吸血されている動物がヒルを体につけて移動し、分布域を拡大させている。吸血される割合は、丹澤山麓の例ではシカが約 45%、イノシシが約 30%と報告されている。

#### 6) 定期的なチェック

一定時間歩いたり休みを取った後は、ヒルが長靴や服に付着していないかチェックする。

車に乗る前にも付着していないかをチェックする。とくに靴の裏の滑り止めの間に潜んでいることがあり、車内で登ってくるので要注意。

### 生活圏での対策

以下の対策を複数組み合わせ、総合的に実施することにより防除効果が高まる。

#### 1) 捕獲による殺ヒル

人がいると集まってくるので、見つけ次第捕殺する。踏みつぶすだけでは死なない。塩や酢を十分かける。

#### 2) 地表の乾燥

環境改善（排水溝作成、客土等）により地表を乾かし、ヒルの生息に適さない環境とする。

#### 3) 除草

特に春～秋にかけては、除草を繰り返し、土地を乾燥させる。また、隠れ家を無くす。

#### 4) 落ち葉かき

秋から冬にかけては、落ち葉を除去し、越冬させない。隠れ家を無くす。地表を乾燥させる。

#### 5) 殺ヒル剤・忌避剤の散布

ヒルを寄せ付けない忌避剤や、ヒルを直接殺す殺ヒル剤の散布は、除草や落ち葉かきと合わせると効果的。

#### 6) 動物の締め出し

動物がヒルを運ぶので、動物が入り込まないようにする（柵、追い払い等）。

#### 7) 生活圏に隣接した放棄地、林地への対応

生活圏と隣接した放棄地、林地等に生息するヒルについても 1) ～ 6) の方法により除去し新たな侵入を防ぐ。

監修：山梨県森林総合研究所

森林研究部

主幹研究員 大澤正嗣

技師 飯島勇人

編集：普及指導部

林業普及指導員 中桐秀晴

TEL 0556(22)8001 FAX 0556(22)8002